松柏小学校　学校便り　　Ｒ７．６．１１（火）

えがなかちゃん　No. ８

―笑顔・なかま・チャレンジ―

校長　加地孝昌

楽しく、深く学んだ修学旅行！

広島勝利！やったー！

平和集会

後ろに見えているのが原爆ドーム

６月６日（金）～７日（土）は、内容の充実した最高の修学旅行でした。

野球観戦で何よりすばらしかったのが子どもたちの応援。学校で覚えた選手の応援歌を歌い、カープダンスを踊り、手作りのうちわを振りながら応援する姿に、地元応援団の方から、たくさんの褒め言葉をいただきました。球場を後にする時、応援団の方から、「ありがとう！」「また来てね！」と、たくさん手を振ってくれました。

百聞は一見に如かず
百見は一験に如かず

一方、平和公園では、原爆ドームを間近に見て、平和集会を行ったり、平和公園のガイドさんからお話を聞いたりして、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命を大切さについて深く学びました。「百聞は一見に如かず、一験は百見に如かず」と言われます。体験は大事です。子どもたちにとって、学びの深い体験となりました。

人々の復興の力

広島カープもお好み焼きも、原子爆弾とつながりがあります。原子爆弾の投下後、「草木が今後 75 年は生えない」と言われた広島を元気づけようと市民がお金を出し合い、『市民球団』を作る計画を立てます。それが広島カープの発祥です。そして、広島カープの球団ができたのが、原子爆弾が投下されてから、何と５年後の 1950 年のこと（驚き！）。また、広島風お好み焼きは、市民のおなかを満たそうと、外国からの救援物資の小麦粉を水に溶かし作ったのが始まりです。カープの応援をし、お好み焼きを食べ、心も体も元気にしながら人々は広島のまちを復興させてきました。（すごい！）

修学旅行では、広島のまちを立て直した人々の力も学び取ったと思います。６年生が、修学旅行で学んだことを校内へ広げたり、自分の生き方へつなげたりする姿を期待しています。

田植え体験学習（５年）

６月４日（水）５年生が田植え体験学習を行いました。この学習は、地域の鈴木さんや農業振興課さんからの協力を得て、毎年、行っているものです。

田植え体験が初めての子が多く、田んぼの土の感触を楽しみながら、（大きく育ってね）と心を込めて苗を植え付けていきました。

植えた品種は、『ひめの凛』。秋には、鎌を使って稲刈りも行う予定です。この後、苗がどのように成長していくのか、しっかりと見ていきます。

教職員救命講習会ー命を守るためにー

水泳の授業が始まるのに合わせ、６月４日（水）の午後、全教職員で心肺蘇生法とＡＥＤの使用に関する講習会を実施しました。消防署から訓練人形を借り、５グループに分かれ胸骨圧迫やＡＥＤの使い方を体験しました。この講習会は、毎年行っていますが、繰り返しの講習が大切です。声を掛け合いながら、真剣に講習を行いました。

PTA球技大会ー親睦を深めましたー

６月１日（日）の午前中、校内ＰＴＡ球技大会を行いました。コロナ禍前は、１学年１チームの学年対抗戦を行っていましたが、人集めに苦労したという話を受け、今年度は希望者を募り、集まった人の中でチームをつくり、親睦を目的に実施する方向へと実施方法を変えました。20名を越える方の希望があり、男女混合の３チームと、教員の１チームの合計４チームで総当たり戦を行いました。好プレーあり珍プレーありで、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。

来年度も、この形を踏襲したいと思います。来年度、一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。みんなで親睦を深めましょう。（朗報：私の五十肩？六十肩もバレーのおかげで治りました。健康増進、間違いありません！）